酒米「山田錦」の
刈取り適期診断アプリの開発

【背景・目的・成果】
「山田錦」の産地では、適期収穫による品質向上を図るために、刈取り適期情報を農家に提供しています。その判定に活用されている黄化籾調査の省力化と精度向上を図るために、スマートフォンのカメラを用いて刈取り適期を推定するアプリ「Grains Cam」を京都大学と共同で開発しました。

1　従来の刈取り適期診断

収穫前に行われる黄化籾調査

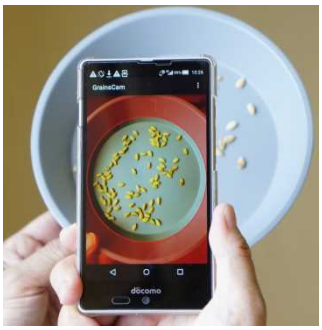
刈取り適期（黄化籾率90%）の予測日を記入した「適期旗」

(1)　黄色に熟した黄化籾と未熟な緑籾の割合を目視で調査しています。
(2)　籾数の計測には労力を要し、黄化籾の判定では個人差が生じる可能性があります。

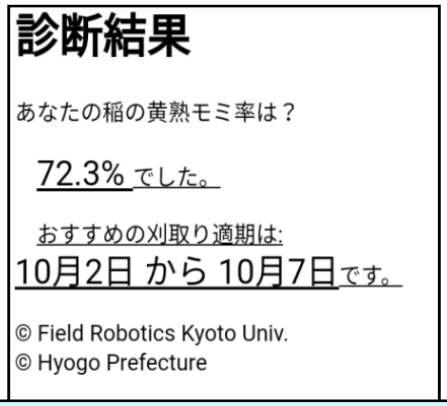
手作業からスマホアプリ「Grains Cam」の活用へ

2　新しい刈取り適期診断

**灰色の専用トレーに籾をのせ
画面の赤い円に合わせて撮影します**



**黄化籾率（黄熟モミ率）と
刈取り適期が画面に表示されます**



【技術の活用】
(1)　撮影条件は、① 灰色の専用トレーを用います。②専用トレーに2穂の籾をのせて撮影します。
③屋外の日陰で撮影します。
(2) スマホアプリはAndroidのみに対応しており、推定可能な品種は「山田錦」限定です。

兵庫県 Hyogo Prefecture
兵庫県立農林水産技術総合センター
農業技術センター

研究成果紹介
動画サイト